



問一 文章の筋道をつかむ問題です。傍線部だけを見ると、「自由が増えること＝望ましいこと」と考えてしまいそうですが、直後で筆者が「それを良しと楽しむ一方で～」と書いているので、「自由が増えること」が望ましくない結果も生みだす、と筆者が考えていることが読み取れます。「孤独という感情は～果たしていないのです」以降を手がかりにして、解答を選びます。

問二 文章の筋道をつかむとともに、本文の内容を大きくとらえる問題です。アとウだけを選んだ解答が非常に多く見られました。筆者が課題解決のきっかけとしたペットについての記述は、本文 2 ページの「ペットの存在意義」という小見出しの付いた箇所から始まります。この箇所を丁寧に読むと、エも解答として選べることがわかります。傍線部の前後だけでなく、同じテーマについて書かれている箇所全体を大きくとらえながら解答することがポイントです。

問三 文章の筋道をつかむ問題です。直前に書かれている「人類」「テクノロジー」という言葉を手がかりにし、前ページの小見出しにも注目することで、正解は容易に探せます。

問四 文章の筋道をつかむ問題です。まず、ロボットがペットと「同じ道を進む」ということをつかみます。次に、ロボットとペットの共通点を、本文に即して考えます。傍線部よりも前の「愛情を注ぐための存在」という言葉と、傍線部の直後の「他者を愛でる能力」という言葉を手がかりにして、解答を選びます。

問五 文章の筋道をつかむ問題です。「フォルム」は、前の行の「姿かたち」の言い換えです。「頭の大きな雪だるまに～趣」という言葉から、LOVOTの姿を具体的にイメージしてみましょう。問五に限らず、わかりにくい事柄を具体的にイメージすることは、文章を正しく理解するためのヒントになります。

問六 文章の筋道をつかむ問題です。次ページの「そもそも LOVOT は」で始まる段落を手がかりにします。

問七 文章の筋道をつかむ問題ですが、選択肢に挙げられた具体例は、本文には書かれていないものです。落ち着いて傍線部の直前を見ると、「癒された人」とあります。これに最も近い内容の含まれている選択肢を探すと、「心にゆとりができ」た人について書かれたイが選べます。

問八 本文の内容についての正誤を判定する問題です。本文全体から正誤を判定できる箇所を探さなければなりません。問二同様、本文全体を念頭に置くことで、該当箇所を見つけやすくなります。アとウに誤りが目立ちました。アは、「ぼくら」が「人類」の言い換えであることに注目します。ウは、「テクノロジーは生産性向上のために存在する」という固定観念にとらわれずに、筆者のテクノロジーに対する考えを正しくつかんで答える必要があります。

## 二

問一 登場人物の気持ちを読み取る問題です。適当ではないものを選ぶ問題であることに注意しましょう。

問二 慣用句が表す様子を読み取る問題です。固唾を呑むとは、事の成り行きが気がかりで、緊張しているという意味です。この場面と慣用句が表現している様子を照らし合わせて考えましょう。

問三 登場人物たちの関係性から登場人物の気持ちを読み取る問題です。傍線部中に「小さく頷いた」とあり、傍線部の直後に「変わった～思わない」とあります。「咲月」と「楽志」の間にはわだかまりがありました。この場面では、「咲月」がありのままの「楽志」を受け入れていることが読み取れます。

問四 登場人物の気持ちを読み取る問題です。傍線部の後の「瑠香」の言動から、気持ちを考えましょう。

問五 ニカ所の傍線部の登場人物の気持ちをそれぞれ読み取る問題です。傍線部⑤では、言葉をつまらせた「瑠香」に「灯里」は寄り添い、「瑠香」をなだめています。傍線部⑥の直前では、「咲月とちゃんと話してあげて」とあり、「咲月」と向き合って話すことを「瑠香」に勧めています。それぞれの傍線部の周辺の「灯里」の言動から気持ちを読み取りましょう。

問六 文章の筋道をつかむ問題です。傍線部の後に「瑠香ちゃんも、これから一緒に探そうよ。」とあり、「咲月」は「瑠香」と共に中学校生活を送ることを思い描いている。「イ」を選ぶ人が多くいましたが、『瑠香』のことはもう気にしないで』は、本文ではふれられていません。

問七 記号の使い分けを読み取る問題です。\*より前の場面では、登場人物以外に、「モノたち」同士も会話しています。しかし、\*より後の場面では、「モノたち」は登場していません。記号が使われている部分について、登場人物の会話か、それとも「モノたち」の会話かなどを確認しましょう。

## 三

①「平易」は言葉の意味を理解しているかどうかで差がつかまりました。④「拡張」は「長」の誤りが多かったです。書き順を意識し、トメ・ハネ・ハライを丁寧に書きましょう。